

大平山荘 視察

利用者の声で個室化

大平山荘の大広間が個室化され、3年度1月19日に完成。4年度からの利用が可能になり山荘の利用客向上が期待される。利用者の中には、日差しや室内に熱がこもることから、エアコンの設置を望む声も出ている。その現状を視察した。



視察を終えて

阿部 満吉 委員

(宿泊施設は快適に)

間仕切りの関係で風が通らないのが原因か、登山客の最大の敵は暑さなどでの寝不足などが原因での体調不良である。トラブルなど避けるためにもエアコンの設置は必要。



山荘の火山災害対策は万全か

登山者にとっては欠かせない施設である大平山荘。災害に対する備えも必要であるが、運営は第3セクターである。避難訓練・避難所開設の実施は必要。

視察を終えて

那須 正幸 委員

(LINE活用で避難周知を)

大平山荘は避難所になる可能性もある。登山者への避難指示や情報は無線では届かない。デジタルツールの活用も考えるべき。

遊楽里 あぼん西浜 視察

個室化で利用拡大を目指す

「公共施設の長寿命化の取

り組み」はどのようにするのか。建物の経年劣化を改善する必要がある。秋には、遊楽里6階の個室化が予定されている。

視察を終えて

高橋 冠治 委員

(修繕でも、数億円単位)

あぼん・遊楽里は町にとつては観光施設の拠点である。あぼんは、建設から35年、遊楽里は25年経過。修繕費は数億円単位と見込まれる。

メンテナンス部品の供給は

「鳥海・ふれあいと創造の里づくり事業」の指定を受け、昭和62年に建設された、あぼん西浜。一番古い施設である。

(写真は、あぼん西浜の温湯ろ過機。更新工事の予定もある。)



視察を終えて

菅原 和幸 委員

(癒しのを今後)

町民以外のファンも多い。必要に応じ関連施設の改修も行い、癒しの場を今後も提供したい。

遊佐高校 男子寮視察

学生寮の設備は適正か

野沢寮に4名・八日町寮に4名の県外留学生在が生活している。きれいな環境で楽しく留学生生活を。



視察を終えて

斎藤 弥志夫 委員



八日町宿舍の敷地内

視察を終えて

阿部 満吉 委員

敷地内の草木の整備や、健康管理も必要。ハウスクリー

ニング業者や、持ち主と相談し環境改善すべきだ。

ICT・DX支援

スマホ教室を実施

ICT推進室が設置され1年が経過。これから取り組むDX支援事業について意見交換を行った。

視察を終えて

松永 裕美 委員

(デジタル推進計画の重要性) スマホが、誰でも気軽に使える教室がDX支援事業として行われる。町民に寄り添い優しい街であってほしい。

その他(座学)

- 遊佐高校魅力化(企画課)
- 地域協力隊との意見交換
- 電子決済による町税の状況 (町民課)